

入学式式辞

庭の桜の花も満開となった、春真っ盛りのこのよき日に、成城高等学校定時制の課程の入学式を挙行し、新入生を迎えることができましたことを、たいへん嬉しく思っています。

新入生のみなさん。ご入学、おめでとうございます。今日から、皆さんは成城高等学校の一員です。緊張のなかに、正面を見据え、ここに座っている皆さんを頼もしく思います。

保護者の皆様。本日は、おめでとうございます。ここからお祝いを申し上げます。

これまでのご苦勞へのねぎらいを申し上げますとともに、これからは、教職員一同とともに手を取りあって、高校生活での成長のため力を出しあってまいりましょう。本校の教育活動へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

改めて、新入生の皆さん、ご入学おめでとう。皆さんの入学を教職員一同、心から歓迎いたします。この成城高校定時制の課程は、定時制の工業高校をルーツに50年以上の歴史があります。これまで、およそ3000人以上の生徒たちが学び、そして社会へと羽ばたいていきました。昼に働き、夜に学ぶというスタイルは昔の工業高校の時代から変わっていませんが、学習内容は総合学科として、みなさんの興味、関心に応じた多彩な科目が、そして小中学校の学び直しの学習や受験を意識した発展学習が設定されています。さらに、教職員は生徒にやさしく、長所を伸ばすために生徒一人ひとりに手厚く、きめ細やかに対応できる体制で指導や支援をすることが特徴になっています。

さて、今日から本校で学び成長していくために、皆さんにぜひ実行してほしいことがあります。それは、この成城高校の伝統でもあり、校訓として正門の石碑に示されている、「誠実明朗」「自発創生」そして「和親協同」です。このなかでも特に「和親協同」を実行してください。

「和親」、つまり「周りの人たちと仲良くすること」。「協同」、「皆で助けあうこと」。この校訓は、本校の伝統であり、教育活動の精神として、すべての場面で活かされています。日々の教室での勉強や実習、さまざまな行事や部活動など。一人でするのではなく、互いに協力しあうことを本校で身に着けてほしいと思います。

まずは、「挨拶」から始めてください。どの人とも最初は初対面です。初対面の時の最初の接触は、「挨拶」から始まります。「周りの人たちと仲良く、皆で助け合う」ためにはコミュニケーションがとても大切です。

「和親共同」を実行するための最初の一步は「挨拶」です。少しの勇気をもって「挨拶」のできる人間になってください。

夜に学ぶということと、「和親協同」を通じて、ここに座っている皆さんの成長していく数年後がとても楽しみです。

以上を持ちまして、簡単ではありますが私からの入学式の式辞といたします。